

《自己水と府営水》

両浄水場の休止の時期については、平成19年3月末日を予定しております。

課題点として、自己水の計画能力が32,500 m³/日から28,300 m³/日になり4,200 m³/日減少することになりますが、両浄水場休止により減少する実質配水量は、平成17年度実績において1500 m³/日の減少になります。自己水源は現状能力を確保する必要があると考えております。今後、現状確保する方向で検討を進めたいと考えています。

名称	計画能力		平均配水量 (H17年度実績)		休止後計画能力	
	m ³ /日		m ³ /日		m ³ /日	
全体	95,300	100.0%	63,055	100.0%	91,100	100.0%
府営水	62,800	65.9%	42,713	67.7%	62,800	68.9%
自己水	32,500	34.1%	20,342	32.3%	28,300	31.1%
宇治浄水場	20,700	21.7%	14,237	22.6%	20,700	22.7%
西小倉浄水場	5,000	5.2%	3,518	5.6%	5,000	5.5%
横島浄水場	2,700	2.8%	810	1.3%	0	0.0%
神明浄水場	1,600	1.7%	783	1.2%	1,600	1.8%
開浄水場	1,500	1.6%	690	1.1%	0	0.0%
奥広野浄水場	1,000	1.0%	304	0.5%	1,000	1.1%